

新しい年へ!

日本共産党

切実な願いまっすぐに届けて



2017年の幕が明けました。安倍自公政権とその補完勢力に、野党と市民の共闘が対決する、日本の政治の新しい時代が始まりました。日本共産党は足立区議会第4回定例議会で、子どもの豊かな体験や災害に強いまちづくりなど積極的提案を行うとともに平和首長会議参加自治体として核兵器廃絶の先頭に立つことを求めました。またLGBT(性的少数者)や高齢者の権利擁護、生活困窮者への自立支援の強化なども取り上げました。区は、わが党が繰り返し要求してきた介護保険利用料の区独自負担軽減や人材確保、また小規模工事契約希望者登録制度の改善について初めて前向きな答弁をし、前進の道を開きました。今年も、切実な声をまっすぐ議会に届け、平和とくらしを守る区政実現にむけ頑張ります。

各関係機関に申し入れ

東京都第六建設事務所 (11/30)

都道について、でこぼこ道改善、緑を増やす、狭くて危険な道路の拡幅、自転車道の整備対策などを強く求めました。

都交通局 (11/11)

日暮里・舎人ライナーの混雑緩和を求め続け、今年度一編成増やし現在の17編成から18編成になります。根本対策の一編成5両を6~7両にすることを含め、前向きな受けとめでした。

こどもの森視察 (11/14)

練馬区にある区立こどもの森は自然と触れ合えるプレイパークです。プレリーダーが「秘密基地」を作ったり泥んこになって遊びます。足立区にもプレイパークをと質問に生かしました。



西新井駅のエスカレーター・東西自由通路、北千住の踏み切り対策を引き続き要望すると共に各駅のホームドア(現在東武線はゼロ)の設置やトイレの洋式化も要望しました。



東武鉄道 (12/2)

東京メトロ (12/5)

ホームドア設置について、千代田線は2020年度、日比谷線は2022年度内に全線に設置が完了すると回答があり、大きく前進しました。

今年もみなさんと力あわせがんばります!

くらしの相談は

03(3880)5770
日本共産党足立区議団へ

氏名・役職	住所
区議会議員 山中ちえ子	(事務所) 足立区花畑4-25-4 三吉ビル1階 ☎(03)3880-1001
区議会議員 西の原えみ子	(自宅) 足立区千住緑町 2-5-16 ☎(03)3880-3000
副幹事長 針谷みきお	(事務所) 足立区西伊興 4-7-8 ☎(03)3880-1507
副幹事長 浅子けい子	(事務所) 足立区千住旭町 20-12 ☎(03)3880-4547
政調委員長 はたの昭彦	(自宅) 足立区大谷田 5-27-15-403 ☎(03)3880-1960
幹事長 鈴木けんいち	(自宅) 足立区青井 1-4-10 ☎(03)3880-3500
区議団長 ぬかが和子	(自宅) 足立区伊興 1-5-3 ☎(03)3880-7159

意見書

- 「危険な重層長屋の規制を求める」意見書
 - 「老朽化した学校施設の国庫補助金の増額を求める」意見書
 - 「特別支援教育の環境整備の抜本的対策を求める」意見書
- など5本、全会派一致で決議

日本共産党

足立区議団ニュース

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 ぬかが和子
編集責任者 浅子けい子

みなさんのご意見をお寄せ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

2016年第4回定例区議会報告 No.176

重層長屋・シェアハウス

戸建て住宅の跡地やアパート建築不可の狭い土地に続々

日本共産党の質問実り意見書・条例制定も

貧困ビジネスの温床の懸念

足立区では、ワンルームマンションすら建てられない狭い敷地に「シェアハウス」「重層長屋」の名目で次々と劣悪な住環境の建物が建てられ、貧困ビジネスの温床の懸念や近隣住民から反対運動が起きています。

法の網をくぐる重層長屋とは

共用の廊下や階段、エレベーターがなく、全戸1階に玄関があり、各戸の専用階段で上階に上がる縦に連なる長屋を「重層長屋」と呼ばれています。



1.5mもない路地の奥に「脱法」まがいの巨大な重層長屋を建築中(西竹の塚)

路地状敷地や旗ざお地は、火災時などの避難に支障が多いために、マンションなどの共同住宅を建てることを禁じています。シェアハウスや重層長屋は、共同住宅と同等の建物が格安の敷地いっぱい建てることで、共同住宅

から反対運動がおこり、「東京都建築安全条例」に違反している、民間の建築審査機関が許可した建築確認の取り消しを求めて「審査請求」が出されています。



足立区内、戸建て住宅の跡地に18戸の「シェアハウス」出現。1世帯の面積は7㎡の場合も

に義務付けられている二方向避難路の設置も必要ありません。法の網をかいくぐる重層長屋などは不動産業界でも儲けの道具として利用しています。

西竹の塚では悪質な開発業者による「重層長屋62戸」に反対運動

竹ノ塚西口近くの幅1・5mに満たない路地の奥の四方を囲まれた土地に62戸の「重層長屋」の建設が始まっています。「共同住宅と同じような構造の重層長屋が火災になったら周辺が火の海にならかねない」と近隣住民

日本共産党と住民の共同で変化

日本共産党は、この問題を区議会ですべて取り上げ、決算特別委員会、建設委員会、さらに第4回定例会質問で連続して追及し対策を求めてきました。

初めて取り上げた決算特別委員会では「現在の建築基準法や都の建築安全条例では、そのような敷地に建てられることになっている」と追認する姿勢でした。しかし、その後の追及で「奥まったところに多数の長屋があることは、近隣に対しても迷惑が掛かる。条例、建築基準法に適合しているからと言って、許容するのはどうかと思っている。今後、問題点を整理していきたい」と、何らかの対応が必要だと答弁が変化しました。

さらに今定例会議では重層長屋対策について29年1月

末を目前に環境基準を見直し、指導を強化。29年度中に新たな条例制定を視野に検討を進めると表明し、全会派一致で意見書も議決されました。日本共産党の論戦と住民運動の共同で、政治を動かしています。



区内に建設された重層長屋を調査する区議団

学校統廃合ガイドライン

「学校を残して」の声など パブコメに史上最高の594件

12月7日に締め切られた学校統廃合の是非を問う、パブリックコメントに足立区政で史上最高の500件を超える区民意見が提出されました。区は区議会ですべて「区民意見をうけて、区の考え方をまとめたいので、該当地域で区民説明会を開く」と答弁しています。



小さな学校・少人数学級は世界の流れ 子どもの教育より区財政を優先する計画

子どもの成長を優先するなら、ていねいに教え育てることが必要であり、小規模な学校は子ども一人ひとりに目が行き届くなどの優れた面があります。これまで区は学校一校減らせば6000万円経費削減が可能としており、子どもより区財政を優先している考え方です。

さらに、学校は震災時には避難所になります。子どもだけでなく、全区民が影響をうけるとともに地域コミュニティを円滑にする上でも、統廃合の是非が問われます。

適正規模、適正配置(統廃合)ガイドラインの対象となった学校

地区名	学校名	学級	学級	今後の方針	建築年
江北	江北小	11	小規模	江北エリアデザイン地域での建設含め、統合に向けた準備	S41
	高野小	12	小規模(人数)		S37
鹿浜	鹿浜五色桜小	14	適正	鹿浜西小学校の小規模傾向が見られるため、引き続き検討	S47
	鹿浜西小	8	小規模		S44
	北鹿浜小	12	小規模(人数)		S48
	鹿浜第一小	18	適正		S40
	血沼小	11	小規模		S57
入谷	舎人小	15	適正	足立入谷小学校では年少人口の減少が見られ、今後引き続き検討	S44
	舎人第一小	16	適正		S61
	足立入谷小	8	小規模		S50
	入谷中	5	小規模		S51
花畑	入谷南中	9	小規模	H2	
	花畑第一小	12	小規模(人数)	花畑西小学校では今後の動向を注視	S38
	花畑西小	13	適正		S45
	桜花小	12	適正		S47
	花畑中	5	小規模		S38
花畑北中	6	小規模	S53		